#### 第3章 学校施設の実態

### 3-2 学校施設の老朽化状況の実態

#### ■健全度の評価(点数算定)方法

健全度とは、5つの部位における劣化度(A~D評価)を建物単位で数値化した評価指標です。下表の①部位の評価点、②部位のコスト配分から、健全度を100点満点で算定します。

#### ①部位の評価点

	評価点
А	100
В	75
С	40
D	10

#### ②部位のコスト配分

	部位	コスト配分		
1	屋根·屋上	5.1		
2	外壁	17.2		
3	内部仕上げ	22.4		
4	電気設備	8.0		
5	機械設備	7.3		
	計	60		

#### ③健全度

総和(部位の評価点×部位のコスト配分) ÷ 60 ※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。 ※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

(右図「劣化状況調査票」記入例における健全度計算例)



出典:「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」(文部科学省 平成 29 年 3 月)

## 第3章 学校施設の実態

3-2 学校施設の老朽化状況の実態

# (3)施設状況と評価のまとめ

現地調査を行った結果、学校ごとに評価が大きく分かれ、南部中学校、朝日丘小学校 については A 判定の項目が多く、高得点となっています。

その他の学校については、C・Dが多く、得点が低くなっています。

通し番号	施設名	建物名	構造	階数	面積	築年数	屋根・屋上	外駐	内部仕上	電気設備	機械設備	劣化状況評価点数
1	北部中学校	校舎	R	3	1,749	45	В	В	С	С	D	49
2	北部中学校	校舎	R	3	381	45	С	В	С	С	D	46
3	北部中学校	校舎	R	4	2,507	45	D	С	С	С	D	34
4	北部中学校	屋内運動場	R	2	1,535	45	С	В	С	С	С	50
5	北部中学校	校舎	R	3	1,249	45	В	В	С	С	D	49
6	十三中学校	校舎	R	3	2,206	36	D	С	С	С	С	37
7	十三中学校	屋内運動場	S	2	830	36	С	С	В	С	С	53
8	十三中学校	校舎	S	2	259	3	А	Α	Α	A	A	100
9	南部中学校	校舎、地域・学校連携施設	R	3	3,918	7	А	А	Α	A	A	100
10	南部中学校	屋内運動場	R	2	1,200	7	А	A	Α	A	A	100
11	南部中学校	校舎、地域・学校連携施設	R	1	281	7	А	А	Α	A	Α	100
12	西條中学校	校舎	R	3	4,562	35	D	D	С	D	С	25
13	西條中学校	屋内運動場	S	2	952	34	С	С	В	С	С	58
14	西部中学校	校舎	R	3	1,435	39	С	В	С	С	С	63
15	西部中学校	寄宿舎	R	2	405	39	С	В	В	С	С	63
1.6	西部中学校	屋内運動場	S	2	830	30	С	С	В	С	С	58
17	西部中学校	校舎	R	2	1,430	27	С	С	С	С	С	56
18	窪小学校	校舎	R	3	2,172	43	С	D	D	С	D	17
19	窪小学校	校舎	R	3	2,347	43	С	В	В	С	D	59
20	窪小学校	屋内運動場	R	2	1,193	27	С	В	В	В	С	68
21	避浦小学校	校舎	R	3	2,400	32	С	С	С	С	С	40
22	灘浦小学校	屋内運動場	R	2	849	31	С	С	В	С	С	53
23	湖南小学校	校舎	R	2	1,432	46	Ð	В	С	С	D	44
24	湖南小学校	校舎	R	2	1,343	46	С	С	В	С	D	49
25	湖南小学校	屋内運動場、地域・学校連携施設	R	2	1,094	20	С	C	В	В	В	62
26	海峰小学校	校舎	R	2	2,157	23	D	С	В	В	В	59
27	海峰小学校	屋内運動場	R	2	873	23	С	С	В	В	В	62
28	上庄小学校	校舎	R	3	1,391	38	С	С	С	С	С	40
29	上庄小学校	屋内運動場、地域・学校連携施設	R	2	997	27	С	В	В	В	В	72
30	上庄小学校	校舎	R	3	930	26	С	В	В	В	В	72
31	十二町小学校	校舎	R	2	1,773	28	С	В	C	В	С	55
32	十二町小学校	屋内運動場、地域・学校連携施設	R	2	1,112	23	С	В	В	С	С	72
33	宮田小学校	校舎	R	3	1,638	42	D	С	С	С	D	34
34	宮田小学校	校舎	R	3	1,191	41	С	В	В	С	D	59
35	宮田小学校	屋内運動場	S	1	585	41	В	В	В	С	С	66
36	朝日丘小学校	校舎	R	3	5,072	6	A	А	Α	A	Α	100
37	朝日丘小学校	屋内運動場	R	2	920	6	A	А	Α	A	A	100
38	比美乃江小学校	屋内運動場	S	2	1,315	40	С	D	С	С	С	31
39	比美乃江小学校	校舎	R	3	3,412	39	D	D	С	С	D	25
40	比美乃江小学校	校舎	R	3	1,054	39	С	С	В	С	С	53
41	比美乃江小学校	校舎	R	3	1,054	39	С	С	В	С	D	49

#### 第4章 学校施設整備の基本的な方針等

4-1 学校施設の規模・配置計画等の基本方針

# 第4章 学校施設整備の基本的な方針等

# 4-1 学校施設の規模・配置計画等の基本方針

本計画において、学校施設の規模・配置計画等に関わる基本方針を『氷見市公共施設再編 計画』学校施設に関する基本方針の内容をふまえ、以下の2つにまとめます。

『氷見市公共施設再編計画』における学校施設に関する基本方針					
	方向性の区分	方向性の内容			
① <b>更新</b> 給食センター	既存施設の機能維持のため、施設 の建替えを行うもの。	施設の老朽化が著しいことから、施設の建替えを進めることとするが、将来の必要給食数児童生徒数の推移や全校へのセンター方式採用拡大などによる影響を踏まえた規模となるよう配慮する。			
<b>③集約化</b> 小学校 中学校	複数の施設の再編・集約化を行う もの。集約化にあたっては、既存 施設の活用のほか、必要に応じて 新たな施設の建設を行う。	今後の児童生徒数の減少をふまえ、よりよい 教育環境を確保するとともに、合理的かつ効 率的な学校整備を進めるための新たな小中学 校将来計画を策定する。【 重点実施事業 】			



#### 本計画における学校施設の規模・配置計画等の基本方針

- ①小学校・中学校の統廃合
- 2給食センターの更新

# 4-2 改修等の基本的な方針

## (1) 長寿命化改修等の基本方針

学校施設の老朽化に対する整備として、従来のように建築後 40~50 年程度で改築(建替え)するのではなく、効率的・効果的に進めるための新しい改修方法として、長寿命化改修を行います。長寿命化改修を行うことで、コストを抑えながら改築同等の教育環境の確保が可能となります。

本計画においては、長寿命化改修を基本とし、学校施設を健全な状態に保ちながら長く利用していく方針とします。以下に改築と長寿命化改修の整備判断基準を示します。

整備区分	判断基準				
宝'佣区刀	現時点での築年数	その他			
改築	築 60 年超え	<ul> <li>鉄筋コンクリート劣化が激しく、改修に多額の費用がかかるため、改築した方が経済的に望ましい施設</li> <li>コンクリート強度が、おおむね 13.5N/mm2以下の施設</li> <li>基礎の多くの部分で鉄筋が腐食している施設</li> <li>校地環境の安全性が欠如している施設</li> <li>建物の配置に問題があり、改修によっては適切な教育環境を確保できない施設</li> <li>学校の適正配置など地域の実情により改築せざるを得ない施設</li> </ul>			
長寿命化改修	築 40~60 年	● コンクリート強度が、おおむね 13.5N/mm2 を超える施設			

また、不具合があった場合に保全を行うといった場当たり的な「事後保全」ではなく、計画的に施設設備の点検・修繕等を行い、不具合を未然に防止する「予防保全」を行う方針とします。

#### 予防保全のメリット

- 突発的な事故が減る。突発的な多額 の費用が発生しにくくなる
- 事故から復旧までの時間が短い
- 維持管理・更新の費用が平準化する
- 設備の長寿命化が図れる

図 予防保全のメリット (『学校施設の長寿命化改修の手引 ~学校のリニューアルで子供と地域を元気に!~』より)